



富田の丘から

校章の由来 (昭和61年制定 作者 板橋新四郎氏)

三枚の「榎(えのき)」の葉は、本校の教育目標の三本柱「知」「徳」「体」を象徴している。また、左右の黒い部分は、はるかに仰ぎ見る磐梯山、安達太良山を象徴し、学力と体力の向上を表しています。

「榎」の由来 富田郷土誌によると、「富田」の地名は、田穀豊穡を願って命名され、地域の人々は農業神として日吉神社を建立し、信仰してきました。その御神木が「榎」です。校章のシンボルとして「榎」の葉を配したのは、富田の地名に由来したものです。

実り多い2学期に期待します！

夏休み中に、富田中生徒の多くの活躍を見ることができ、2学期の充実した学校生活への期待を大きく持つことができました。2学期には、創立30周年事業そして文化祭「榎祭」があります。一人一人が関わりを持ち、創り上げていきます。夏休み終わりには、大阪で悲慘な事件が起きました。おとなも子どもも、他人ごとでなく考えさせられる事件でした。2学期もよろしくお祈りします。

◆ 夏休み中の活躍を讃える

今日ここに、夏休み中に多くの経験を積み、大きく成長した皆さんと共に2学期を迎えることができ、安心と共に嬉しく思います。

夏休み中、皆さんの多くの活躍を見ることができました。中体連の県大会、東北大会、そして全国大会への出場がありました。また、郡山市で開催された県大会、東北大会で補助員として大会を支えてくれた生徒もいました。特設合唱部として音楽祭に参加した生徒、それぞれの立場で、大会に臨む姿に感動を覚えました。これから英語弁論、駅伝大会に出場する人もいます。参加した皆さん、指導いただいた先生方、ありがとうございました。そして、支えていただいた保護者の皆様に、御礼を申し上げます。また、熱い中毎日の部活に熱心に取り組んだ2年生1年生、進路の実現に向けて正面から取り組んできた3年生、それぞれの取り組みが、実を結ぶことを期待します。

◆ 望ましい人間関係・集団活動に期待する

今日から始まる2学期は、中学校生活の基盤となる一人一人の人間関係を大切にして、日々の学校生活を送ってください。その中でも中心となるのは校内文化祭榎祭です。富田中学校の生徒全員が関わり、望ましい人間関係、望ましい集団活動の中で、作り上げる過程を大切に、創立30周年にふさわしい榎祭を成功させて下さい。1年生2年生は、文化祭から3年生の見事な活動を引継ぎ、新たな伝統を積み重ねていくという強い意志を持ってください。

◆ 進路の実現に正面から

3年生の皆さんに繰り返し話をします。自分の進路の実現に正面から立ち向かってください。「自分の夢を壊すのは誰でもなく、自分自身」という言葉を忘れないでください。

◆ 命を大切にしたい

終わりに、望ましい人間関係をつくるためにも、自分を大切に他の人も大切にしてください。夏休みの終わりに、大阪で悲しい事件が起きました。おとなも皆さん中学生も、遠くで起きた他人ごとではなく、事件の背景を考えなければなりません。自分の命、他の人の命を大切にしましょう。

富田中学校の生徒一人一人が輝くことを願って、始業式の話とします。